

## 【浅口市教育委員会】

### 校務DX計画

浅口市では、GIGAスクール構想に基づき、令和2年度からICT環境の整備を進めてきました。しかしながら、教育現場では業務の複雑化や負担増加といった課題が依然として存在しており、効率的な校務運営が求められています。

これらの課題を解決するため、本市町村では教職員の働き方改革の一環として、校務のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、業務の効率化や負担軽減に向けた具体的な取り組みを進めることとします。

教育現場におけるDX化を推進するため、以下の5つの重点項目を定め、校務DXを推進していく。浅口市では、教職員の業務効率化、ペーパーレス化、そして質の高い教育活動の実現を目指す。

#### 1. 次世代型校務システムの導入

- ・校務支援システムのクラウド化を促進し、データ連携による業務効率化の実現を目指す。
- ・次世代校務支援システムの導入（令和11年度中）に向け、令和8年度中に統合型（クラウド型）校務支援システム導入の検討を進める。
- ・ゼロトラストの考え方にに基づきアクセス制限によるセキュリティ対策を十分講じたうえで、校務系・学習系ネットワークの統合に向けて検討を進める。

#### 2. 教育情報セキュリティポリシーの策定

- ・浅口市立学校セキュリティポリシーを策定（令和5年度）し、教職員がクラウドサービス利用時のセキュリティ対策に関するルールを定めた。また、適切な運用が継続するように校内研修を適宜行い、運用方法や情報漏洩のリスクを最小限に抑える。

#### 3. FAX・押印の見直し

- ・行政機関・外部事業者との連携強化：行政機関や外部事業者との連携を強化し、ペーパーレス化を推進していく。

- ・市の教育委員会から学校へ提出を求める資料について、令和8年度中には、全ての文書について押印を不要にすることを目指す。

#### 4.校務における生成 AI の活用推進

- ・業務の効率化や質の向上を図るため、生成 AI の校務における活用について、国の実証研究における実践例等の情報を各学校に提供するなど、校務における生成 AI の活用が推進されるよう支援していく。

#### 5. ペーパーレス化の推進

- ・会議資料をデジタル化し、ペーパーレスな会議運営を促進する。
- ・デジタル教材の活用を促進し、紙ベースの教材の利用を減らす。
- ・保護者欠席連絡アプリの活用による連絡の迅速化及び学校からのお便りのデジタル化によりペーパーレスを推進する。
- ・校務支援システムへの名簿情報の入力やその他アプリの登録については、市教育委員会から学校へエクセルデータで提供し、合理化を図っている。